

海外安全対策情報

【2020年1月～3月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、各種犯罪は日常的に発生してお
り、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナー
に伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケ
ースも報道されています。さらに、投資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返っ
てこない詐欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬
物犯罪が後を絶たない状況にあります。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこ
とはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しない、飲酒者に自己所有の車両を運
転させないように気をつけなければなりません。また、売春などの性的サービスも禁
止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場など
でトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような
点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 暴行（青島市、平度市）

ア 高所からの投げ捨て（青島市）

2月20日、即墨法院は8階から酒瓶を投げ捨てた被告人に懲役3年、執行猶予
3年の判決を下した。本判決は、最高人民法院が高所からの投げ捨てに関する意
見を発出して以来、青島地区で初の該当刑事案件となった。被告人は、2019年11
月結婚生活と仕事の不満から、8階の自宅で酒に酔った状態で家の中のものを壊
し、窓ガラスを割ってそこからビール瓶を投げ捨てた。判決では、重大な損害は
出ていないものの、部屋の下には人、車の往来があるため公共の安全を犯す恐れ
があったとして、公共安全危害罪を構成するとした。なお、同裁判は、法院、検

海外安全対策情報

察院，被告人をネットにつないだネット裁判で行われた。

イ 検査員による暴行（平度市）

2月25日，平度市内某村の防疫検査所において，入村者の検査をしていた同村党支部書記と検査所を通過した男が言い争いになり，喧嘩に発展したことから，両名は周りにいた人により引き離された。同件を調べた平度公安によれば，検査所にいた書記の男は，酒に酔った上，検査の仕方がいい加減で乱暴であり，更に通過した男を殴打していたことが判明したため，同書記は15日間の行政拘留に処せられた。

ウ 村幹部に対する暴行（青島市）

3月5日午後，青島西海岸新区某村村民の男が電動バイクに乗って村の防疫検査所に来た際，同所に同村幹部がいるのに気が付き，常日頃同幹部に不満を持っていたことから，故意に検査所に張られていた規制ロープに突っ込んだ。幹部が村民の男を制止したところ，今度は電動バイクを幹部の身体に突っ込み，更に折りたたみ椅子を幹部にぶつけたことから，幹部は頭部を負傷した。後日，同村民の男は警察に呼び出され，行政拘留7日間の処分を受けた。

エ 高所からの投げ捨て（青島市）

3月2日，嶗山区のマンション内駐車場に駐車していた車両のボンネットに，スーツケースが落ちているのを車両の所有者が発見した。通報を受けた警察は，現場の状況からスーツケースがマンションから落とされたと判断し，聞き込みを行ったところ，マンション10階に住む夫婦がいつも喧嘩していることがわかった。該当する部屋を探し出し，居住者を追及したところ，家庭内の憂さを晴らすため，窓からスーツケースを投げ落としたことを認めた。当該居住者は現在保釈されているが，今後公共安全危害罪により立件予定である。

(2) 窃盗（青島市）

ア 空き巣（青島市）

2月29日，城陽警察は，マンション内に不審な者がいるとの通報を受け現場に急行し男1名を確保した。同男によれば，マンション内に姉が住んでいるとのことであったが，侵入道具を所持していたことから，更に追及したところ，防疫期間のため留守である部屋を狙って侵入し，金や食品を盗んでいたことが判明した。同男は，春節以降これまでに城陽区内で3件の犯行を繰り返していた。

イ 店舗荒らし（青島市）

3月初，青島西海岸新区の商店の外に置いていた白酒1箱が無くなっていることに店員が気付いたことから，監視カメラを白酒が置いてある方向へ向けておいた。6日，また1箱無くなっていたため，映像を確認したところ，中年男性が盗んでいたことが判明，同男性が9日，同店に来て買い物をしたことから，店員が警察に通報し検挙された。同男性によれば，これまでに白酒の他，缶詰やハムな

どのつまみも盗んでいたとのこと。

ウ 車上ねらい（青島市）

3月11日夜、青島市市北区の路上に駐車していた複数台のタクシーの窓ガラスが割られ、車内の財物が盗まれる車上ねらいが発生した。翌12日、犯罪発生場所付近に怪しい男がいるとの通報を受けた警察は、男を発見し、男の所持品から盗んだ財物を発見した。男を追及したところ、これまでに6件の犯行を行い、5000元を盗んでいたことを自供した。

（3）詐欺（青島市）

ア マスク販売詐欺（青島市）

2月17日青島市市北警察は、マスク販売を持ちかけ24万元を詐取した男を検挙した。同男はwechat上でマスク販売の広告を出して、それに応じた者から24万元を振り込ませたが、期日になってもマスクを発送せず、返金にも10万元強しか応じなかった。被害の申告を受けた警察が同男を検挙したところ、同男はネット賭博にのめり込み借金が膨らんでいたところ、最近のマスク需要の高まりに目をつけ、wechat上でマスク販売を持ちかけ金を騙し取ることを思い付いた。返金しなかった金はネット賭博の返金に使っており、上海市、江蘇省、湖北省等にも被害者がいる模様である。ア キャッシュカードスキミング（臨沂市）

イ ネット詐欺（青島市）

3月7日、黄島公安分局が某マンション小区でマンション住民に対して防疫検査をしていた際、住民の男の情報を登録したところ、ネット犯罪逃亡者であることが判明し検挙した。同男は、wechatのグループチャット上で「銀貨」を売ると投稿し、応じた人に「銀貨」3枚、「銅貨」70枚を3000円で売ると持ちかけ、3000元を送金させたところで、同人をブラックリストに登録して連絡が取れないようにしていた。

ウ マスク販売詐欺（青島市）

3月8日、青島西海岸新区に居住する男が、他人を騙したと派出所に出頭してきた。同男は会社を経営していたが、経営が上手くいかず100万元余りの負債を抱えていたところ、最近の新型コロナウイルス流行によりマスクを求めるモーメントが増加しているのに目をつけ、医療用マスクを販売すると騙して24.5万元を振り込ませた。さらに3万個のマスクを入荷したので全額の振り込みを要求し、再度16.5万元を得て、負債の返済に当てた。その後、マスクを送るようにとの催促に言い訳を重ねて逃げていたが、もう逃げ切れないと観念して派出所に出頭してきた。

（4）覚醒剤密輸（青島市）

青島市公安局薬物対策支隊は、違法薬物密売で入獄していた男が、出所後、頻繁に四川省成都へ行き次の日に青島に戻っていることを把握した。同男が昨年末にも

海外安全対策情報

成都へ行き、その際成都から済南への物流を行っている会社を訪ね、そこで成都から済南へ宅急便を送っていたことを把握、同宅急便が済南を経由して青島に届き、宅急便を受け取りに来た容疑者らを検挙した。宅急便には、豆板醤の中に覚醒剤 2kg が隠されており、更に容疑者らの部屋を捜索したところ、合計 300g の覚醒剤を押収した。

(5) 防疫期間における賭博（膠州市）

膠州市公安局は、防疫期間中に集まり賭博をしていたことでこれまでに合計 14 名を検挙した。2月10日、仕事に行けないからとマスクもつけずに集まり賭博をしていた5名を検挙、13日同じ村の村民4名を検挙、16日賭博を開帳していたことで5名を検挙した。検挙された者は検温や消毒を経ていずれも行政拘留の処分に処せられた。

(6) 痰吐きにより行政拘留処罰（青島市）

2月5日、市北区のマンションのエレベーター内で故意に痰を吐いた男がいたとの通報を受け、市北警察が監視カメラ映像からこの男を特定し、家族に連絡したところ男が派出所に出頭した。同男は社会に悪影響を及ぼす行為をしたとのことで、行政拘留5日の処罰を受けた。

(7) 隔離措置違反（膠州市）

2月13日、膠州市の某企業に勤める山東省外から戻ってきた従業員が、発熱したため病院で隔離措置がとられた。当該企業には2月2日から合計8名が山東省外から戻り働いていたところ、省外から戻り働く場合には14日間隔離し関係部門に報告しなければならない、隔離期間は外出してはならないとの規定に違反したとして、当該企業の責任者及び当該企業が借りていた寮の家主がそれぞれ行政拘留10日間の処分を受けた。

(8) 車両所有者に対する飲酒運転判決（青島市）

3月、即墨検察院が起訴した飲酒運転死亡事故に対して判決が下された。事故は、2019年9月数人が飲酒した上、その中の一人が車を運転し携帯電話に気を取られていたところ、前を横切った電動二輪車をはね、電動二輪車に乗っていた老人が死亡した。事故を起こして怖くなった運転手はその場から車を置いて逃走し、同乗していた車の所有者も付近のトイレに閉じこもっていたが、警察からの呼び出しに応じて、両名とも出頭した。判決では、運転手はもちろん、車の所有者も飲酒運転することが判っていたにもかかわらず車を運転させたとして、運転手に懲役3年、執行猶予3年、所有者に拘留5ヶ月、執行猶予1年、罰金1万元の刑をそれぞれ科した。

(9) たばこの火による山火事（青島市）

3月22日、河南省から働きに来た工員6名が、隔離期間を終了した日に嶗山登山に行った。6名は仰口から嶗山風景区に不法に侵入し、防火警戒区において休憩中

に吸ったたばこの火により山火事を引き起こし、80 m²強を延焼させた。侵入の首謀者は10日間の行政拘留に処せられ、その他の者は警告を受けた。

4. 治安対策等報道

(1) 逃亡犯検挙（胶州市）

3月8日、胶州市公安局は、長期間行方がわからなかった逃亡犯の男を検挙した。同男は、2015年に運転免許証を取り消されて以降、運転時に同僚の運転免許証を借りて写真を貼り替え使用していた。2019年3月に金に困り、偽造した運転免許証を使って金を騙し取って逃亡していた。公安が行方を捜索していたところ、同男の自宅の門が内側から鍵がかかっていたことから、家にいることが判明し男を検挙した。男によれば、防疫のためにホテルは閉まり、どこに行くにも身分証が必要になったので、身を隠す場所がなくなり自宅に戻るしかなくなったと供述している。

(2) 防疫期間における電信ネット詐欺検挙件数（全国）

国家反詐欺センターの発表によれば、3月24日までの防疫期間において、全国の公安機関が検挙した電信ネット詐欺は、件数14786件、検挙した容疑者6605名、被害総額4億8800万元であった。

（了）